

## 日本真空学会2013年12月研究例会

主題 「薄膜・材料における反応・構造・電子状態の放射光による解析」

光は物質と相互作用して吸収・散乱・回折を起こします。シンクロトロン放射光を照射して起こるこれらの現象を活用して、材料表面・界面で起こる化学反応や化学結合状態の解析、構造評価、電子状態の研究も大きく進歩しました。それらは薄膜形成過程の解析、燃料電池触媒反応の解析、様々な材料表面の特異的性質の解明、次世代電子デバイスの開発指針の提案、スピントロニクス材料の基礎的物性評価などにおいても重要な知見を与えつつあります。この度、X線光電子分光、X線吸収分光、X線散乱などの最新の実験手法を活用して得られる材料表面・界面で起こる化学反応や化学結合状態、構造、電子状態等について、活発にご研究されている先生方に解説していただく機会を企画しました。本研究例会は大学等の教育研究機関に所属する研究者、学生諸氏のみならず、企業において研究開発に従事されている研究者の方々にも有用な情報をご提供できるものとなっています。これを機に、企業-アカデミアの研究開発関係者の相互理解が深まり、実用化に向けた研究がより活性化することを期待します。

日 時：2013年12月26日（木）13：00～16：45（受付12：30～）

会 場：SPring-8 中央管理棟 1階 上坪記念講堂

兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1 [http://www.spring8.or.jp/ja/about\\_us/access/](http://www.spring8.or.jp/ja/about_us/access/)

講演プログラム 〈各講演40分（質疑応答込）〉

- |                                       |                              |             |
|---------------------------------------|------------------------------|-------------|
| 開会の挨拶                                 | （日本真空学会 講演・研究会企画委員会委員長）佐々木正洋 | 13：00～13：05 |
| 1. 放射光 X線光電子分光を用いた銅および銅合金表面酸化反応過程の解明  | （大阪大学）岡田美智雄                  | 13：05～13：45 |
| 2. 燃料電池正極触媒の in situ 放射光分光<br>（休憩）    | （東京大学）原田滋久                   | 13：45～14：25 |
| 3. 放射光軟 X線吸収分光法による炭素材料の局所構造解析と化学状態分析  | （兵庫県立大学）村松康司                 | 14：40～15：20 |
| 4. 表面界面解析に基づいた次世代 SiC パワー MOS デバイスの開発 | （大阪大学）渡部平司                   | 15：20～16：00 |
| 5. 放射光 XMCD 分光測定による高スピン偏極材料の研究        | （広島大学）木村昭夫                   | 16：00～16：40 |

施設見学会：10：30～12：00 SPpring-8 および SACLA

意見交換会：17：00～19：00 SPpring-8 特別食堂

宿泊：SPpring-8 研究交流施設

前泊、後泊をご希望の方はお申し出ください。

SPpring-8 の原子力機構から予約します。1泊2,000円です。

参加費：当日会場にてお支払いください。

日本真空学会会員	2,500円（予稿集代を含む）
非会員	3,500円（予稿集代を含む）
学 生	無 料（予稿集500円）
意見交換会会費	3,000円

参加申込み：宿泊、意見交換会を含め、12月16日（月）までに電子メールにてお申し込みください。

（施設見学会については、12月9日までにお知らせください。）

申込み・問い合わせ先

一般社団法人 日本真空学会 TEL: 03-3431-4395 FAX: 03-3433-5371

E-mail: [ofc-vsuj@vacuum-jp.org](mailto:ofc-vsuj@vacuum-jp.org) URL: <http://www.vacuum-jp.org/>

本件担当 日本真空学会 講演・研究会企画委員会（筑波大学）佐々木正洋